

かんしょ新品種「フサベニ」

誌名	農業技術
ISSN	03888479
著者	樽本, 勲 石川, 博美
巻/号	44巻10号
掲載ページ	p. 464-464
発行年月	1989年10月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



かんしょ新品種「フサベニ」

樽本 勲 石川博美

本品種は、農水省農業研究センターで育成され、平成元年5月に「かんしょ農林42号(旧系統名：関東95号)」として命名登録された食用・青果向のかんしょ品種である。その育成経過と特性概要を紹介する。

育成経過

本品種は良食味多収で耐病虫性の食用品種育成を主目標に、食用として皮色、形状が良く、複合病害抵抗性を有する「関東85号」(母本)と食用として外観特性の良い「千系7238-19」(父本)との間で交配し(昭和52年、九州農業試験場)、昭和53年以降、農業研究センターにおいて選抜および適応性等を検討してきたものである。

特性の概要

1) **外観品質に優れる** いもの皮色は濃赤紫、いもの形状は紡錘～長紡錘形、大きさは中位で、形状・大小の揃ともに整で、条溝・裂開・皮脈ともに無であり、また外皮の表面が滑らかで目が浅い等の特性を示し、外観品質はベニコマチより2ランク、紅赤より1ランク上と評価され、優れる(表参照)。

2) **“上もの収量”が高い** “上もの”とは形状品質がA品(上記のような外観品質のいも)で、形量区分がM～L(200～450g)のいもをいい、表の外観品質、上いも収量、および株当たり上いも個数から“上もの”収量が高いことがうかがえる。

3) **食味品質は紅赤に優る** 蒸しいもの肉色は黄白、やや粉質で、繊維は中程度である。育成地産いもの食味品質は中上で、紅赤(別名：金時)に同等かやや優り、高系14号に優るが、ベニアズマ・ベニコマチにはやや劣

る。適地産のいもの食味品質は紅赤に優り、ベニコマチ、ベニアズマ並に良い。

4) **サツマイモネコブセンチュウに耐性がある** 立枯病、ネコブセンチュウにやや強の抵抗性、黒斑病には中程度の抵抗性を示す。特にネコブセンチュウについては、いもの目からの侵入耐性があり、激発地における栽培でも正常形のいもを産し、瘤状のいもは出来ない(表参照)。

5) **栽培上の注意など** (1)窒素を多く施用するなどの栽培条件により、蒸しいもの肉色が不整となり、灰色を帯びることがあるので注意を要する。(2)つる割れ病防除のため、苗消毒を行う。

適地

試作結果から千葉、茨城、東京、神奈川等の各県の食用かんしょ地帯において、マルチ普通掘栽培用の食用(青果向)かんしょとして好適する。しかし、栽培条件により蒸しいもの肉色が不整で、灰味を帯びる向きがあることから、当面は、栽培最適地であり、かつ上記難点を生じさせない栽培法を有するとみられる千葉県香取郡の一部地域を普及見込み地域とする。

新品種名称の由来：外観品質の良い赤色の塊根が総状に実る(漢表示：総紅)。

育成従事者：樽本 勲・志賀敏夫・坂本 敏・安藤隆夫・石川博美・加藤真次郎・竹股知久・梅原正道・小林仁・湯之上忠・宮崎 司・中西建夫

(農業研究センター作物第一部甘しょ育種研究室)

フサベニの特性(5カ年の総合評価値)

	い も			上いも 収量(比) kg/a(%)	株当たり 上いも 個数	澱粉 歩留 %	蒸しいも			病 害 虫 抵 抗 性					
	形状	皮色	外観				肉色	粉質性	食味	黒斑病	つる割病	立枯病	ネコブ	粗皮症	
農研センター	フサベニ	紡錘	濃赤紫	やや良	185(111)	3.8	23.6	黄色	やや粉	中上	中	やや弱	やや強	やや強	やや強
	ベニコマチ	〃	赤紫	劣	166(100)	3.2	22.6	〃	粉	上下	やや弱	弱	中	中	やや弱
	紅赤	〃	〃	中	79(48)	1.4	20.9	〃	中	中	中	やや弱	中～やや強	やや強～強	やや強
	ベニアズマ	長紡錘	濃赤紫	やや良	204(128)	2.5	24.0	黄	やや粉	上下	やや弱	やや弱	強	中	中～やや強
現地圃	フサベニ	紡～長紡	濃赤紫	や良～良	351(180)	—	—	黄白	やや粉	上下					
	ベニコマチ	長紡錘	赤紫	中	195(100)	—	—	黄白	粉	上下					
	紅赤	長紡錘	〃	中～やや良	156(80)	—	—	黄～黄白	やや粉	中					
	ベニアズマ	長紡錘	濃赤紫	やや良	300(154)	—	—	黄	粉	上					

注) 現地圃は千葉県栗源町。特性値は農研センター：昭和58～63年、無マルチ普通畑の、現地圃：昭和58～62年、マルチ普通畑の平均値

I. TARUMOTO and H. ISHIKAWA: A New Sweet Potato Variety "Fusabeni". 農業技術 44 (10), 1989.